

最近、以前は男性の職場と考えられていた仕事への女性の進出が際立ってきたと感じています。東京ではJR東日本の車掌さんの半数は女性になっていますし、その他事例も枚挙にいとまがないと思います。

航空宇宙産業も例外ではありません。キャビンアテンダントや空港のグランドスタッフは以前から女性が活躍していましたが、整備士や航空機製造の分野は男性の職場で、学校でもかつては男性がほとんどでした。それが近年、つなぎ服姿の女性が本校でも目立つよう



女性の航空宇宙産業への進出

中日本航空専門学校長 磯本聡一

うになりました。現状でも女子生徒の評価は高いは航空整備科の28人(7%）、航空生産科の6人(3%)が女性です。しかし、女性には出産リケジョなど、若者を表す言葉をよく聞きます。最近では企業側でも、本校の男子生徒、女子生徒を見る限りにおいては、どちら女性上さ、以前より女性が職位は揺らぎそうにありません。男性優位であった仕事を目指すだけあって彼女らの意気込みは並々ならぬものがあります。やる気が違えば学ぶ姿勢に差が出るのは自明の理です。教員の評価も概して女子生徒の方が高いです。就職した企業から

現状でも女子生徒の評価は高いのが現状です。男子生徒の奮起を期待します。しかし、女性には出産という男性には経験できない一大イベントがあり、最近では企業側でも、出産前後の育児休暇やその他の福利厚生制度を充実させ、以前より女性が職位は揺らぎそうにありません。男性優位であった仕事を目指すだけあって彼女らの意気込みは並々ならぬものがあります。やる気が違えば学ぶ姿勢に差が出るのは自明の理です。教員の評価も概して女子生徒の方が高いです。就職した企業から